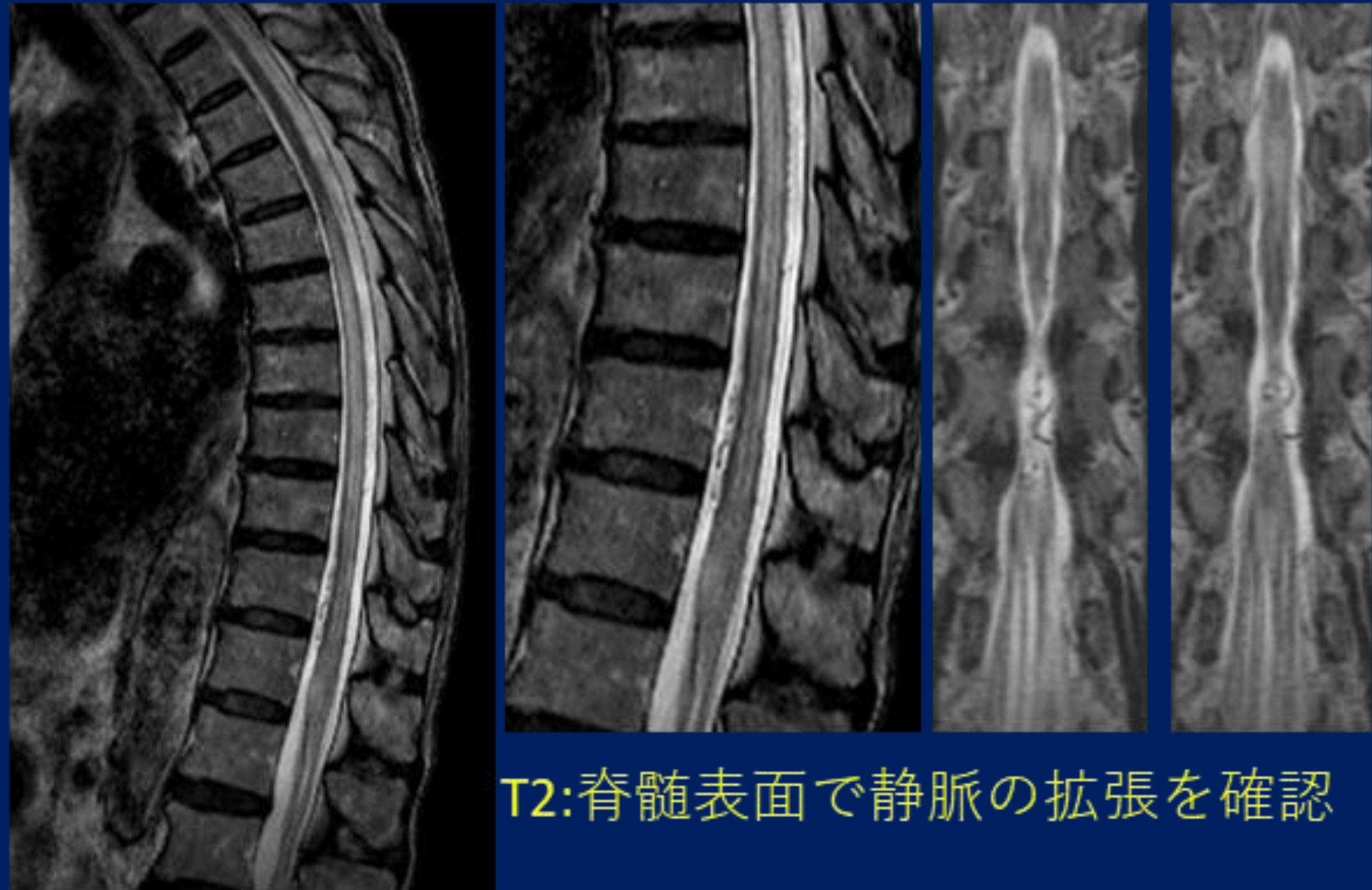
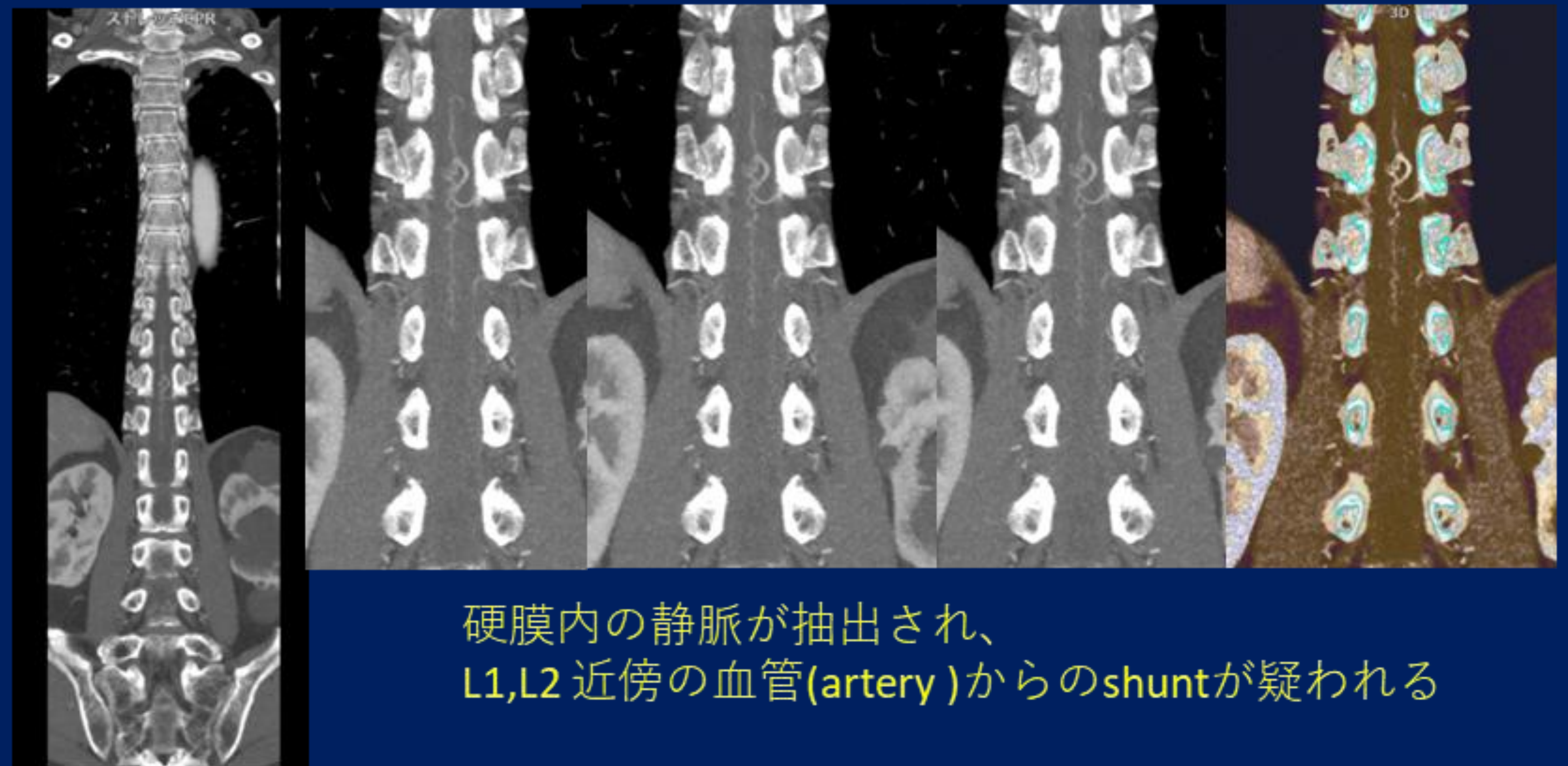


脊髄硬膜動静脈瘻において術前CTならびに血管造影検査でのCone-beam CTが有効であった症例

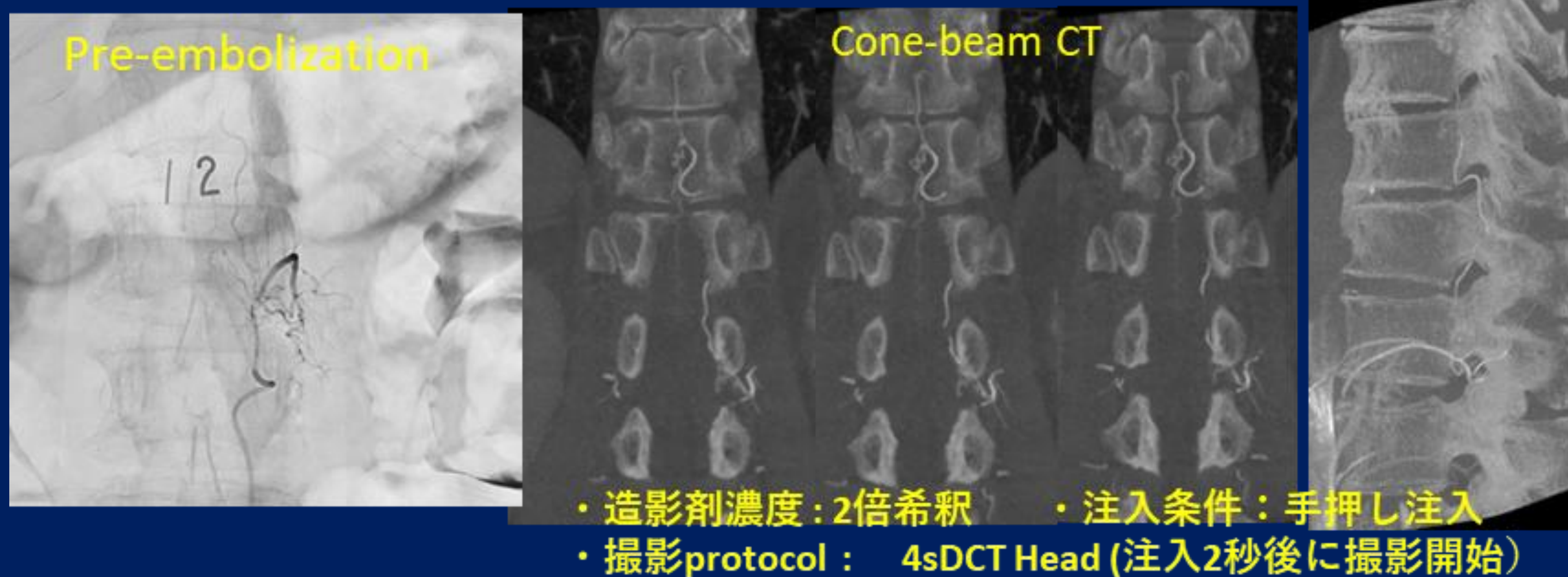
1.MRI



2.造影CT

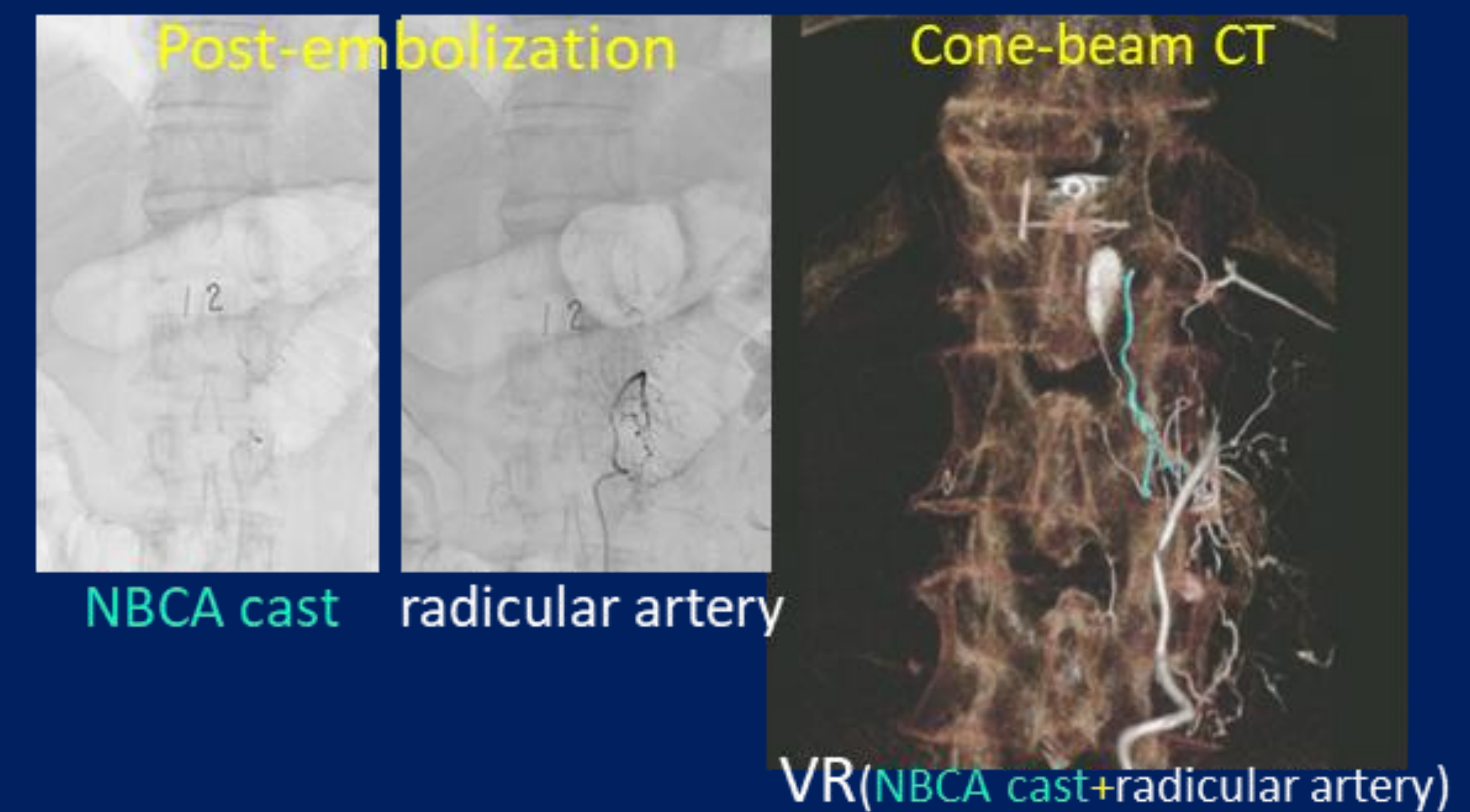


3.術前血管造影



L1,L2 近傍のradicular artery から椎間孔近傍に向かう血管より
硬膜内の静脈が抽出され上方へと灌流するshuntを確認
Cone-beam CTで、さらに血管走行、形態、位置関係が明確

4.術後血管造影



Shuntならびに 導出静脈の消失確認
症状は著明に改善

術前の造影CTでcone-beam CT同等の情報が得られ,術前のshunt point同定の一助になった